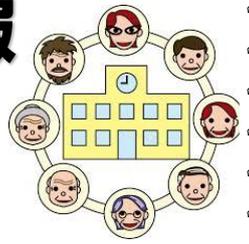


厚陽 小・中・保 地域協育ネット情報

厚陽っ子だより



令和3年8月1日(第80号) 厚陽学校支援地域教育協議会

夏休みと聞いて思い出す事の一つに“夏休みの宿題”があると思います。今年はいつもと違って、パソコンを使った宿題が出ました。夏休みに入る前、子ども達が「キーボードの練習ができるゲームがあるよ」「昔話を動画で見られるよ」など、パソコンを楽しむ機能を教えてくれました。最近、大学入試に、パソコンを使ったプレゼンテーションが課題で出るそうです。

増々進むIT化に向けて、子どものパソコン利用に気を付ける事が、親の夏休みの宿題かもしれませんね。
(地域コーディネーターより)

厚陽中学校で手話の体験授業がありました。(R3.7.2)

中学1年生を対象に、すみれの会の方を講師にお迎えしての手話授業がありました。はじめ緊張していた生徒達も、空中に字を書く“空書”、口の動きで伝える“口話”、イラストやジェスチャーを交えての伝言ゲームをしたり、手話を使った自己紹介をしたり、「童謡 ふるさと」を手話で歌ったりすることで、楽しみながら手話を覚えていました。



生徒達が書いた、すみれの会の皆様へのお礼の手紙には、「授業の前は、手話を難しいと思っていたが、実際に経験すると、とても楽しく、もっと知りたくなった。」という感想が多くありました。「手話は難しい。」という先入観が無くなったことは、今回の授業のとても大きな成果のひとつだと思います。生徒達は、文化祭で今回の授業を活かし、手話ソングを披露するそうです。講師の方も招待される予定で、こうした新たな交流が生まれることも学校支援の良いところですね。

おすすめ! ~授業で学んだ素敵な話~

手話は言語なので、国や地域によっても違うし、世代によっても違いがあるのですが、アルファベットの「I」「L」「Y」を一度に表している「I LOVE YOU」の手話は世界で広く使われており、世界共通の手話と言われているそうです。早速使ってみよう!



おいせ 山陽小野田市では昨年、手話への理解の促進及び手話の普及を図ることに
より、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる共生社会実現を目指
すため、「山陽小野田市笑顔でところをつなぐ手話言語条例」が施行されました。

★(保育園)七夕まつい・お楽しみ会 (R3.7.7)

今日は七夕！楽しい七夕クイズや、先生方の迫真の演技が光るパネルシアターで、七夕について楽しく学びました。みんな、自分が作った短冊や、かざりの自慢をうれしそうにしてくれました。

「なわとびがじょうずになりたい」、「ボクシングせんしゅになりたい」、「バレエがじょうずになりますように」、「プリキュアになりたい」など、いろいろな願い事が書かれていました。



★(保育園)おまついごっこ (R3.7.10)

七夕の次は、夏祭り！魚つり、輪なげ、スーパーボールすくい、ボーリングやボールころがしなど、たくさんのゲームコーナーを楽しみました！幼児さんは、ねらいを定めてキラキラ輝くスーパーボールを、乳児さんは、おうちの方と一緒に可愛い魚をすくっていました。その日の夜、子ども達はスーパーボールや魚をお風呂に浮かべ、入浴タイムで楽しかったおまついごっこを再現したようです。



★(厚陽あそび隊)みんなでニュースポーツを楽しもう！！ (R3.7.7)

ニュースポーツは、ルールがやさしく、年齢や体力にかかわらず誰もが楽しめるスポーツとして近年注目されています。今回は、「すげえちゃ・たかとまり」から先生をお招きし、ラダーゲッターとビンゴボードを楽しみました。



「ラダーゲッター」



「ビンゴボード」

私も一緒にやってみましたが、子どもたちの方が良いスコアをどんどん出すので、おもしろい本気になっていました。だれでも夢中になれるニュースポーツ、おすすめです！

学校支援をはじめ、各種活動にご協力いただける方を募集しています。

できる時にできる範囲で構いません。お気軽に事務局までご相談ください♪



【厚陽学校支援地域教育協議会事務局 (厚陽公民館)】 Tel 74-8400 FAX: 75-0628